

令和9年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験
第二次選考試験（模擬授業）に係る書類の提出について
（特別支援学校理療科教諭）

令和8年7月29日
特別支援教育課

第一次選考試験合格者に対して、第二次選考試験において模擬授業を実施します。模擬授業に係る提出物等は次のとおりです。

1 模擬授業について

（1）提示する模擬授業の内容

解剖生理学「題材名：肝臓の組織構造～肝小葉の構造」、または臨床医学「单元名：腰痛、腰下肢痛」のどちらかを選択して行う。

（2）提出物

選択した模擬授業の内容について記した「授業シート」を作成し、**5部**印刷して第二次選考志願書（1部）とともに郵送してください。下記の＜様式＞のように、**A5横判相当に作成し、切らずにA4判の用紙のまま郵送**してください。

※「美の国あきたネット」からエクセルファイルの様式がダウンロードできます。

（3）模擬授業の進め方

面接官2名を生徒と見立て、模擬授業を行います。想定した1単位時間の授業のうち、10分間の模擬授業を提示してもらいます。詳細は、第一次選考試験の結果通知時にお知らせします。

2 授業シートの提出方法

第二次選考試験の提出物とともに **5部 郵送 令和8年8月18日（火）消印有効**

＜様式＞

↓ 題材を選択の場合

特別支援学校理療科教諭等 第二次選考試験 模擬授業		
授 業 シ ー ト		
志願教科（科目） 特別支援学校理療科教諭	受験番号 147〇〇〇	氏名 〇〇 〇〇
題材名 肝臓の組織構造～肝小葉の構造		
題材の目標		
本時の目標（〇時間中の〇時間目）		
【対象生徒の実態について】 視覚支援学校高等部専攻科1年の生徒A（20代前半）と生徒B（50代後半）の弱視2名の学習グループである。生徒Aは網膜色素変性症、視野狭窄。視覚障害の単一障害で、中学校までは特別支援学校（弱視）に在籍し、高等学校に進学し地元で学んだ。物覚えが早く、口頭説明で理解できることが多い。生徒Bは、糖尿病により網膜症になった中途の視覚障害者である。一般企業勤務歴があり、社会経験が豊富である。パソコン操作に苦手意識があり、授業の内容を理解するのに時間を要する。		

↓ 単元を選択の場合

特別支援学校理療科教諭等 第二次選考試験 模擬授業		
授 業 シ ー ト		
志願教科（科目） 特別支援学校理療科教諭	受験番号 147〇〇〇	氏名 〇〇 〇〇
单元名 腰痛、腰下肢痛		
单元の目標		
本時の目標（〇時間中の〇時間目）		
【対象生徒の実態について】 視覚支援学校高等部専攻科1年の生徒A（20代前半）と生徒B（50代後半）の弱視2名の学習グループである。生徒Aは網膜色素変性症、視野狭窄。視覚障害の単一障害で、中学校までは特別支援学校（弱視）に在籍し、高等学校に進学し地元で学んだ。物覚えが早く、口頭説明で理解できることが多い。生徒Bは、糖尿病により網膜症になった中途の視覚障害者である。一般企業勤務歴があり、社会経験が豊富である。パソコン操作に苦手意識があり、授業の内容を理解するのに時間を要する。		